

9つのマテリアリティごとに中期的なKPIを設定

各マテリアリティに基づき、Astemoグループとしての「2030年のありたい姿」を中長期視点にて定めるとともに、戦略的なKPIを設定。サステナビリティ委員会、経営会議においてその進捗をモニタリング・フォローしています。マテリアリティへの取り組みを通じて、グループ全体のありたい姿を実現し、環境・社会の両面で新たな価値を創出していきます。

マテリアリティ	2030年のありたい姿	KPI	2024年度 実績	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標	2030年～ 目標	
率先した活動、 先進技術の活用を通じた 脱炭素社会への貢献	● 2030年にスコープ1、2にて80%、スコープ3にて25%削減し、2050年にバリューチェーン全体(スコープ1、2、3)にてカーボンニュートラル達成 ● 先進技術による環境負荷の低い製品を開発・供給	生産におけるスコープ1、2 GHG排出量(2021年度比)	△52%	△53%	△58%	△63%	△80%	
		電動化関連製品売上比率	11.5%	13%	13%	18%	25%以上	
持続可能な循環型社会および 自然共生社会への貢献	● サステナブルマテリアル(リサイクル・環境負荷低減材料)の活用、およびサーキュラーデザインを最大化した製品の供給 ● 廃棄物や水資源の有効活用	廃棄物有効利用率	日立グループの 環境行動計画に 基づく指標での 管理	78.1%	80.5%	82.9%	90.0%	
		廃棄物発生総量削減率 (2021年度比)		△8.90%	△8.92%	△8.94%	△9.0%	
		水使用量総量削減率 (2021年度比)		△2.5%	△2.6%	△2.7%	△3.0%	
「安全」と「自由」な移動を実現する 先進技術の開発と ソリューションの提供	● 先進技術を用いたモビリティソリューションの提供を通じた社会への貢献 ● DX・AIの活用による先進的な技術を搭載した製品の供給	SDV関連製品売上比率	将来における競争力強化に向け、10%以上の売上比率をめざす 2024年度については目標達成					約20%
DX・AIを活用した 新たな価値創出と それらがもたらす リスクへの先行的な対応	● 先進技術の開発や業務効率の向上を牽引・推進するDX人財育成を10%*へ	DXを牽引・推進する DX人材割合*	0.4%	1%	3%	5%	10%	

* 間接部門の従業員における割合。

マテリアリティ	2030年のありたい姿	KPI	2024年度実績	2025年度目標	2026年度目標	2027年度目標	2030年～目標
人権の尊重と地域社会への貢献	●人権に配慮し、可能な限り人権リスクを低減する仕組みの確立	人権デュー・ディリジェンスの実施	実施準備	パイロット版デュー・ディリジェンス実施	デュー・ディリジェンス実施	デュー・ディリジェンス実施	デュー・ディリジェンス実施・フォローアップ
	●事業活動を行う地域社会において良き企業市民としての認知獲得	CSR活動件数	2,275件	2,300件	地域社会との協働価値を高める効果的な指標を検討		
社会から信頼される持続可能でレジリエントなサプライチェーンの構築	●サプライチェーン上のリスクを可能な限り低減する仕組みの確立 ●持続可能な経済社会活動に貢献する強靭なネットワークの実現	サプライヤーに対する人権・環境デュー・ディリジェンスの実施	実行計画策定	サプライヤー調査実施	パイロット版デュー・ディリジェンス実施	デュー・ディリジェンス実施	デュー・ディリジェンス実施・フォローアップ
企業の成長と競争力の源泉となる人的資本価値の向上	●価値観を重視した強いAstemo文化を通じて世界最高のモビリティソリューション提供に情熱を持つ人財から「選ばれる企業」に	グローバル従業員エンゲージメント調査の肯定的回答率	66%	68%	70%	72%	79%
従業員の健康と安全、ウェルビーイングを第一に考えた労働環境の整備	●安全で衛生的な職場環境で従業員一人ひとりがウェルビーイングを体感	労働災害件数 発生頻度(TRIFR)	94件 0.111	対前年度比改善			トップレベル達成ゼロ
コーポレートガバナンスの強化とコンプライアンスの遵守	●透明性が高くステークホルダーから信頼される企業として広く認知	従業員ウェルビーイング 関連指標	78.5ポイント	対前年度比改善			10%改善 (2024年度比)
		重大な法令などの違反件数	0件	0件			0件